

一般質問



岩井 明 議員

Q 漁業法改革に対する認識は。

A 宮口町長

今回の改正は、資源管理システムの構築、漁業権の許可制度や海面利用制度の見直し等が柱となっている。新たな企業参加が懸念されるが、都道府県に資源保全の責務が加えられ、持続的な水産業を目指すものと考えている。

Q 本町の漁業従事者への影響は。

A 宮口町長

Q 地元の漁業者を守るための方策や国、道への要望等の考えは。

A 宮口町長

Q 管内では、外国人が酪農業等に就事しているが、畑作の場合、通年雇用が厳しいことから、労働

国の水産改革への対応は



大津漁港の様子

A 宮口町長
サケ定置網漁が中心の本町漁業に直ちに大きな影響を与えるとは考えにくい。改正に伴う動向を十分注視し、関係機関と協議を図りたい。
また、海区漁業調整委員の公選制の問題については、地域で選ばれた方を知事が任命する形で行うことは、今の段階では好ましいと考えている。

農業振興のため外国人労働者の雇用拡大は



坂口 尚示 議員

Q 入管難民法が改正され、外国人労働者の受け入れ拡大により労働力不足の緩和が期待されるが、見解は。

A 宮口町長

労働力不足の解消のため、制度を活用し就業者を雇うことは適切と考えている。本町において、労働力不足を抱える介護・建設・農業等に外国人が就業すると思っており、できるだけ居住しやすい条件・対応等を支援していきたい。

農業被害対策として電気牧柵への助成は

Q 5年振りに鹿による農業被害が増加となった。鹿による農業被害対策の一つに電気牧柵の設置があるが、現在のものは、老朽化により農家負担も増えている状況である。更新に対する農家への助成の考えは。

A 宮口町長

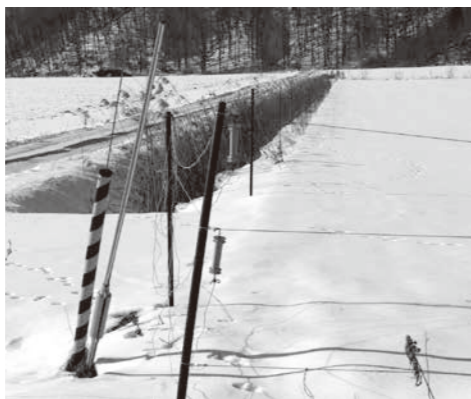
平成23年度から3年間かけて設置した電気牧柵は、国の補助事業を活用し、約270キロメートルの距離を整備した。整備箇所と同じ補助金は活用できないため、町単独での更新もしくは修繕となる。豊頃町農業協同組合と受益者と協議しながらどれだけの財政的負担があるか調査すべきと考えている。

法律改正により、浜で働く方々にどのような影響を及ぼすかは分からないが、大津漁業協同組合や浦幌町と十分協議し取り組んでいきたい。

力の確保が難しくなっている。外国人労働者が通年で本町に居住できるよう方策を検討する考えは。

A 宮口町長

町内では、現在、20人前後の外国人が酪農業等に就事している。畑作の状況は理解しており、今後、豊頃町農業協同組合や労働力が不足している農家の方に実態を聞きながら、雇用や研修など検討していきたい。



畑を囲む電気牧柵

Q ポールの老朽化、機械類の故障、電気牧柵の線の不調等により、鹿による農業被害が拡大する懸念があるが。

A 宮口町長

猟友会にお願いして、鹿の駆除を進めていかなければならないと考えている。

それと合わせて、電気牧柵の問題についても検討していきたいと考えている。

議会コラム

会議録とは？

会議録は、議会の審議内容や会議の発言をそのまま記載した文書です。

意見書

- ① 日米物品貿易協定交渉に関する意見書
- ② 道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

①は産業厚生常任委員会、②は総務文教常任委員会にて審議した意見書案が、各常任委員会委員長である相澤昌幸議員、中村純也議員から提案説明され、いずれも原案のとおり可決し、関係省庁・機関に提出されました。



提案説明する相澤昌幸議員（左）と中村純也議員（右）

作成した会議録は、議会事務局に保管し、議会の記録として保管されます。

また、その写しは、広く住民に読まれるよう図書館に置くとともに、町ホームページにも掲載しています。



図書館に置いている会議録

今後の行財政運営を学ぶ

11月6日、芽室町中央公民館において、十勝町村議会議員研修会が開催され、全議員が参加しました。

研修会では、北海道総合政策部市町村課長の羽田翔氏の「今後の行財政運営の課題」と題した講演が行われました。

講演では、国の政策は国内外の情勢と密接に関わっていることが話されました。また、国と地方の共通課題である人口減少問題には、国の予算が投入されていることから、有効に活用し、今後の本町のまちづくりにつなげることが必要であると学びました。



十勝町村議会議員研修会